

令和元年度仁木町地域おこし協力隊活動報告書

氏名	菊池 司	活動年数	3年目
活動目標	<p>1.仁木町観光協会の社団法人化 2.余市仁木ワインツーリズム推進</p>		
活動内容	<p>①農業委員会 鶴田会長の農地有効活用部会活動への招待もあり仁木町内の数多くの農業者との交流を持つことができた。 結果的には農業従事者が抱える問題について考え、観光協会の立場を超えて出来るアクションを起こす必要性を認識できた。</p> <p>②地域おこし協力隊として働く意味を深く町民の皆様に理解してもらうため手っ取り早くFBに投稿することは良いとしても、より多くの町民理解につながるか疑問。個人的な結論(結果)としては、やはり自分自身が足を運び町民の皆様に会う必要性を強く感じた。</p> <p>③町内会連絡会協議会 同協議会主催セミナーで初めてMCに挑戦した。 結果として、招いたパネラーが好評だったこともあり、自分の中でも出来ることの領域が広がったと思えた。</p> <p>④欧州より初めての海外投資者の受け入れ 結果として、海外投資受け入れに関しては官民一体でのより積極的な誘致が必要と考える。</p> <p>⑤シャインマスカットブランディング会議への参加 JA 新おたるハウスブドウ生産者部会にお声掛けいただき、仁木町産のシャインマスカットのブランディングに参画することができた。結果として、シャインマスカットを通して海外バイヤーとの商談会にも参加し、国内・海外におけるシャインマスカットの商品価値を認識することができ、また、シャインマスカットの次に仁木町として必要な生産物について考えるきっかけとなった。</p>		
自己評価	<p>●一年間の自己評価及び進捗状況 仁木町観光協会の社団法人化は予定より1年遅れたが昨年度より議論を深め2020年4月1日より移行することができた。 また、余市仁木ワインツーリズムについては行政としてのパブリッシングの必要性和事業化へ向けての改題が浮き彫りになった。</p> <p>●活動初年度からの自己評価及び進捗状況 仁木町のような小さな町村では、観光協会は観光に関わる仕事以外で町内の住民と接点をより多く持つ必要性を感じた。観光に関すること以外にやるべきことが沢山あることがわかり、残りの期間も積極的に仁木町住民の皆様とかわっていきたい。</p>		

抱負	新型コロナウイルスがまだ収束していないが、観光協会の皆様及び観光協会と接点のなかった町内の生産農家との交流機会を引き続き積極的に持っていく。
その他	なし

※活動がわかる写真を掲載してください。(複数可)

仁木町インバウンドおもてなしセミナー
2020年2月14日(土) 14:00~16:00
※参加費は無料です。仁木町民センター交流ホール

仁木町では地域の魅力を顕著してワンダラーズ気分をはじめ、国内外からの訪入人口を拡大する取組を進めています。海外からの訪入者・仁木町民とのように接点の多い、訪れと旅行の両方に、スムーズな対応が求められることによる需要増を想定している中、個人旅行の増加、ニーズが多様化している中、地域でのインバウンド対応のスキルアップを図ります。

「プログラム」
-主催者挨拶
-講演1 訪来人の視点で見た 仁木町のインバウンドとは
-休憩15分
-講演2 インバウンド旅行者への 親切なサービス提供
-質疑応答
「定員」 30名

「申し込み」 2020年2月12日(水)迄下記申込書にてお申し込み下さい。 FAX:0135-32-3181

団体・個人名	お申し込みの団体名またはお名前を記入して下さい	
氏 名	フリガナ	カタカナ
連絡先・Eメール	フリガナ	カタカナ
お電話番号		
メールアドレス		

〒100-8385 東京都千代田区千代田1-1-1 日本郵政ビル5階 仁木町民センター交流ホール
TEL: 0135-32-3181 FAX: 0135-32-3181
Eメール: konomi@city-nobori.com

インバウンドおもてなしセミナーを開催

活動写真



ワイン会を開催



本町のシャインマスカット